

平成 29 年度第 2 回阿波市地域公共交通活性化協議会概要

開催日時：平成 29 年 11 月 14 日（火）午後 2 時 00 分～午後 3 時 50 分

開催場所：阿波市役所 2 階 災害対策本部室

出席者：委員 17 名（欠席者 4 名）、事務局 6 名（うち委託事業者 2 名）

会議概要

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

① アンケート調査結果の報告について【資料 1～2】

以下の内容について説明

- ・地域公共交通アンケート調査（H28.3）の補足
- ・高齢者アンケート調査
- ・路線バス沿線住民アンケート調査
- ・高校生アンケート調査

② 新たな交通モードの検討について【資料 3～4】

③ 運行サービス水準に関するアンケート（案）について【資料 5】

④ その他

【協議結果】

① アンケート調査結果を確認

（委員意見）

- ・本市では、平野が多く家屋も点在していることから、路線バスのような定路線での運行は不向きである。
- ・他市においては、新たな交通モードの導入にあたり、実験運行などにより利用者が見込めない場合は見直しをするような取り組みがなされている。
- ・公共交通は赤字が前提であり、市の負担がどこまでできるのかにより事業規模を考えていくべき。

② 新たな交通モードとして「予約型・自宅指定場所間連絡交通」にて検討
することを確認

(委員意見)

- ・高齢者を含め全市的に外出を促す施策としていくべき。
- ・免許証を持たない方の移動確保をしてほしい。
- ・高校生、高齢者等すべてのニーズを満たすことは、1つの方法では難しいと思う。高校生については自転車用道路の整備や元気な高齢者にはシルバーカーを利用するような方法も検討してはどうか。
- ・一番困っているのは高齢者だと思う、早期の実現を目指してほしい。
- ・免許証の返納を進めるためには、移動の受け皿としての公共交通が必要であるため、整備を進めるべき。
- ・地域限定で実験運行を行い利用がなければ見直しをするような方法をとらないと、財政的にも全市的に実施するのは難しいのではないか。実験運行では、登録制にして広告や周知をすることが重要。
- ・タクシー事業者と連携して、既存のセダン型を利用するなど、初期経費を抑制する方法も検討しながら進めた方がよい。
- ・利用対象者を絞るべきであり、本市では高齢者の利用に念頭に置いた交通モードとするのがよい。
- ・二条鴨島線（徳島バス株）を維持していくためには、将来的に地域への負担を求められる可能性がある。

③ 運行サービス水準に関するアンケートの実施について承認
(アンケート調査票(案)は次回の協議会で確認)

④ その他

(事務局説明)

- ・(有)市場交通より、路線バスについて1月1日～3日を運休したいとの申し出有り。
⇒運休期間を周知することを条件に承認

4. 閉 会